

教育委員会

教育行財政	X V - 1
学校教育・社会教育	X V - 3
博物館	X V - 11
楠歴史民俗資料館	X V - 14
図書館	X V - 16
学校人権教育	X V - 21
教育・視聴覚センター	X V - 23

教育行財政

● 教育委員会開催状況

(令和6年)

会 議	議 案 件 数
13回	25件

● 審議状況

(令和6年)

		制 定	廃 止	全部改正	一部改正
条 例		—	—	—	2 件
規 則		—	—	—	1 件
規 程		—	—	—	—
要 綱		—	—	—	—

● 市内の教育機関

(令和6年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年制大学	一校	一人	一校	一人	2校	1,324人	2校	1,324人
短期大学	—	—	—	—	1	109	1	109
高校全日制	—	—	9	6,191	3	2,590	12	8,781
定時制	—	—	2	627	—	—	2	627
通信制	—	—	1	1,080	2	864	3	1,944
中学校	22	7,475	—	—	3	634	25	8,109
小学校	37	14,684	—	—	1	323	38	15,007

● 市内児童・生徒数の推移（公立）

(令和6年5月1日現在)

年度	小 学 校	中 学 校
	計	計
平成24	17,523	8,886
25	17,299	8,822
26	16,843	8,748
27	16,513	8,828
28	16,285	8,667
29	16,185	8,345
30	16,133	7,920
令和元	15,865	7,871
2	15,737	7,760
3	15,453	7,785
4	15,253	7,564
5	15,026	7,499
6	14,684	7,475

● 教育費

(単位：千円)

費 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
教 育 費 (A)	16,258,366	13,552,443	15,403,991
教 育 総 務 費	3,156,959	3,132,394	3,410,586
小 学 校 費	5,142,070	5,989,656	6,518,107
中 学 校 費	5,469,188	2,686,014	3,105,391
幼 稚 園 費	595,841	618,634	596,672
社 会 教 育 費	1,894,307	1,125,745	1,773,235
保 健 体 育 費	—	—	—
一 般 会 計 歳 出 額 (B)	130,708,289	134,591,976	139,251,530
一般会計の中で教育費の占める割合 (A/B)	11.7%	10.1%	11.1%

※他部局での執行分を含む。

※数値は四捨五入していますので、合計が合わない場合があります。

● 児童・生徒1人当たり教育費 ※いずれも建設関係費を除く。(単位：円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
小学校	216,524	207,063	248,490
中学校	160,013	276,286	281,819

● 学校施設整備状況 (主要建設事業)

(単位：千円)

年 度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
事 業		校	事業費	校	事業費	校	事業費
小学校	校 舎 新 増 築	1	433,416	1	1,484,752	1	146,421
	大 規 模 改 修	11	1,156,775	9	1,003,198	9	1,073,471
	空 調 施 設 整 備	35	3,184	35	5,121	35	1,103,440
中学校	校 舎 新 増 築	—	—	—	—	—	—
	大 規 模 改 修	4	352,855	4	401,594	3	268,014
	空 調 施 設 整 備	19	1,889	19	3,037	19	551,720

● 学校備品の整備状況

(単位：千円)

校 種	区分 (備品)	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	理科教育等教材・管理	28,111	—	37,667	—	33,217	—
	保 健	1,591	—	943	—	2,551	—
	給 食	16,265	—	35,098	—	30,175	—
中学校	理科教育等教材・管理	26,583	—	28,855	—	33,901	—
	保 健	916	—	763	—	1,184	—
	給 食	—	4,926	—	—	—	—
合 計	73,466	4,926	103,326	0	101,028	0	

学校教育・社会教育

[学校教育]

● 第4次四日市市学校教育ビジョン【令和4年度～令和8年度】

- 目指す子どもの姿 「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」
子どもが自らの人生を拓き、生き抜く力を身に付け、豊かで充実した人生を送ることができるよう「生きる力」「共に生きる力」を育むことを基本理念に据える。

- 「夢と志を持ち、未来を創るよっかいちの子ども」実現のための5つの基本目標

・子どもにつけたい力

(1) 確かな学力の定着

学習や生活の基盤となる言語能力、社会人になっても通用する問題解決能力、情報社会に主体的に参画する情報活用能力などを育成する。

(2) こころとからだの健全な育成

子どもたちが生涯を通じて心身ともに充実した生活を送ることができる力を育成する。

(3) よりよい未来社会を創造する力の育成

地域に愛着と誇りを持ち、持続可能で暮らしやすい未来社会を担う自立した人間に成長できるよう、主体的に学ぶ意欲と、他者との人間関係を形成するためのコミュニケーション能力を育成する。

・子どもの学びを支える学校づくり

(4) 全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現

誰一人取り残すことのない学びの保障に向けて、子ども一人一人が、それぞれのニーズに応じた学習の機会を得られるよう、全ての子どもの能力を伸ばす教育の実現を目指す。

(5) 学校教育力の向上

学校と家庭・地域・関係機関・専門家が連携し、「チーム学校」としての組織力を強化することで、学校教育力の向上を図る。

● 令和4年度～小・中学校教育指導方針

(指導の力点) 生きる力・共に生きる力の育成

- ・コロナ禍での教訓を踏まえた、誰一人取り残さない“学びの保障”
- ・これからの社会を生き抜くための“非認知能力の育成”

(具体方針)

確かな学力の定着

主体的・対話的で深い学びの実現 ICT活用による情報活用能力の育成 言語活動の充実による読解力・表現力の育成 筋道立てて説明できる論理的思考力の育成 英語コミュニケーション能力の育成 就学前教育の充実

こころとからだの健全な育成

人権教育の充実 道徳教育の充実 読書活動の充実 体力・運動能力の向上 健康教育の推進 食育の推進

よりよい未来社会を創造する力の育成

キャリア教育の充実 四日市の資源を生かした教育の推進 持続可能な社会を目指す教育の充実

防災・安全教育の推進 現代的な諸課題に対応する教育

全ての子どもを伸ばす教育の実現

特別支援教育の充実 日本語指導が必要な子どもへの指導の充実 不登校児童生徒への支援

学校教育力の向上

学校・園経営の充実 生徒指導の充実 学びの一体化の推進 地域と協働した学校づくり 教職員の資質・能力の向上

● 特別支援教育

1. 特別支援学級の設置状況 (R6. 5. 1 現在)

学級の種類	小学校		中学校	
	校数	学級数	校数	学級数
知的障害	35	45	16	18
自閉症・情緒障害	32	38	22	24
肢体不自由	10	10	4	4
弱視	1	1	0	0
難聴	2	2	1	1
病弱虚弱	2	2	0	0
通級指導教室 (言語)	3	7	0	0
通級指導教室 (情緒等)	6	8	3	3

2. 特別支援学級在籍児童生徒数 (R6. 5. 1 現在)

区分	知的障害	自閉症・情緒障害	肢体不自由	弱視	難聴	病弱虚弱	計
小学校	234	191	13	1	5	2	446
中学校	92	104	4	0	5	0	205
計	326	295	17	1	10	2	651

● 保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

- ・主食は、地場産の米飯給食を小学校は週3回、中学校は週4回実施している。パンは県内産小麦粉を30%混入して地元業者で焼いたパン給食を小学校は週2回、中学校は週1回実施している。
- ・副食は「みえ地物一番給食の日」を中心に、旬のもので可能な限り地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。

1. 学校給食実施状況

(令和6年度)

区 分		小 学 校	中 学 校
実 施 校 数		37校	22校
対 象 人 員		14,684人	7,475人
調 理 員 数		※1 269人	—
1食当たり額※2	パ ン	55円 (65円)	63円 (74円)
	米 飯	63円 (74円)	71円 (84円)
	牛 乳	53円 (63円)	53円 (63円)
	パ ン 副 食	154円 (181円)	184円 (217円)
	米 飯 副 食	146円 (172円)	176円 (207円)
1 食 当 たり 経 費 ※ 2		262円 (309円)	300円 (354円)
年 間 実 施 回 数		189回	180回
徴 収 額 (1 食)	高 学 年	256円	300円
	低 学 年	268円	

※調理員内訳 (R6.5.1現在) 正職員28人 再任用職員10人 パート職員75人 民間委託161人

※2 () 内は、食材料費の公費負担分を含めた額

2. 栄養摂取量 (小学校)

(令和6年度)

エ ネ ル ギ ー		625kcal
た ん 白 質		25.6 g
脂 質		18.8 g
カ ル シ ウ ム		361 mg
ビ タ ミ ン	A	198 μgRE
	B ₁	0.43 mg
	B ₂	0.53 mg
	C	29 mg

(中学校)

(令和6年度)

エ ネ ル ギ ー		754kcal
た ん 白 質		31.0 g
脂 質		22.0 g
カ ル シ ウ ム		407 mg
ビ タ ミ ン	A	270 μgRE
	B ₁	0.46 mg
	B ₂	0.55 mg
	C	34 mg

3. 学校災害件数及び医療費給付額

(金額単位：千円)

区分	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
小学校	776	8,307	821	8,124	772	7,996
中学校	803	10,816	751	24,591	623	8,560
合 計	1,579	19,123	1,572	32,715	1,395	16,556

4. 保健担当者一覧

(令和6年5月1日現在)

職 名	配 置 状 況	人員数
学 校 医	1校・園1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	56 人
学校歯科医		65 人
学校薬剤師	各園・小・中学校1人	37 人
保 健 主 事	各小・中学校1人	59 人
養 護 教 諭	各小・中学校1人 (富田小・大矢知興譲小・常磐西小・内部東小2人) (常磐小・海蔵小・三滝中巡回養護を含み2人)	66 人

5. 年齢別体位と平均値

(令和6年度)

区 分		男 子				女 子			
		身長 (cm)		体重 (kg)		身長 (cm)		体重 (kg)	
		全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市	全 国	四日市
幼	5	110.5	110.2	18.9	18.7	109.8	109.4	18.6	19.1
小	6	116.5	116.2	21.3	21.0	115.8	115.7	21.0	20.8
	7	122.6	122.5	24.4	24.0	121.6	121.7	23.6	23.5
	8	128.5	128.8	27.8	27.8	127.5	127.6	26.8	26.7
	9	133.9	133.8	31.3	31.0	133.9	133.4	30.6	30.4
	10	139.3	139.3	35.0	35.0	141.0	140.8	35.2	34.9
	11	145.8	145.6	39.6	39.3	147.5	147.3	40.1	39.9
中	12	153.5	153.2	44.9	45.0	151.9	152.1	44.1	43.8
	13	160.8	160.7	50.6	50.7	154.8	154.9	47.4	47.3
	14	165.6	165.6	54.9	54.4	155.9	156.1	49.6	49.6

● 奨学金事業

四日市市奨学金

1. 支給内容

(令和6年度)

対象者	経済的理由により就学困難な四日市市民又はその子	
支給金額	月額奨学金 (1/2給付、1/2貸与)	【高等学校等】 12,000円/月 【大学等】 24,000円/月
	入学支度金 (全額給付)	【高等学校等】 40,000円 (新規入学者のみ) 【大学等】 50,000円 (新規入学者のみ)

2. 支給状況

令和6年度月額奨学金支給者数

【高等学校等】 153名

【大学等】 114名

3. 奨学金(貸与分)の返還

返還開始日	返還期間	返還方法	返 還 日
支給終了の翌日の翌年度	10年	年賦	年1回(8月頃)

※基準日に奨学生本人が四日市市内に在住していることで各年度の返還を免除

● 私学助成

(令和6年度)

区 分	教育補助	
小・中学校、 高等学校等	市内在住児童・生徒1人年額	
	市内に設置されている学校の場合	3,800円 (通信課程は半額)
	市外に設置されている学校の場合	3,000円

● 就学援助

令和6年度実績

(単位：円)

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

区 分	金 額
小 学 校	137,442,174
中 学 校	127,478,822
計	264,920,996

1. 小学校

(令和6年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数(人)	児童数(人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5. 3. 15	28	310	12	4	15	6
浜田	北浜田町 13-6	明 8. 9. 20	31	478	17	3	21	6
橋北	川原町 25-22	平 25. 4. 1	15	177	6	2	8	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8. 7. 1	34	607	20	4	24	6
塩浜	塩浜町 1	平 26. 4. 1	17	167	7	3	9	6
富田	富田一丁目 24-49	明 20. 7. 1	41	703	24	3	26	6
富洲原	富洲原町 31-14	明 9. 9. 30	26	393	14	2	18	7
羽津	大宮町 16-35	明 7. 5. 10	29	469	16	3	17	7
常磐	城西町 9-14	明 8. 12. 5	37	644	21	3	24	7
日永	日永四丁目 5-13	明 8. 11. 10	34	580	19	4	22	5
四郷	西日野 3207-1	明 9. 2. 4	30	453	17	4	19	5
内部	采女町 888-1	明 7. 2. 3	26	387	14	3	16	7
小山田	山田町 1373-1	明 8. 12. 1	16	145	6	1	7	6
河原田	河原田町 70	明 8. 11. 9	25	325	12	2	14	6
川島	川島町 2046	明 8. 11. 28	27	505	16	3	18	6
神前	曾井町 493-1	明 8. 2. 4	19	239	9	2	12	6
桜	桜町 1257	明 8. 7. 1	25	315	12	2	14	6
県	赤水町 1002	明 7. 5. 4	20	300	12	1	13	5
三重	東坂部町 222-2	明 8. 11. 1	29	500	17	3	19	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7. 3. 16	44	852	28	4	31	6
八郷	平津町 99-1	明 25. 6. 1	26	396	14	2	16	6
下野	朝明町 475-1	明 9. 3. 1	30	507	17	3	20	6
保々	西村町 2741	明 7. 4. 25	25	286	12	3	14	7
水沢	水沢町 2491	明 8. 12. 4	14	118	6	1	7	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38. 5. 7	17	187	7	3	10	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46. 4. 1	24	364	12	3	16	5
笹川	笹川六丁目 25	平 31. 4. 1	36	405	13	5	17	5
常磐西	大字松本 764	昭 48. 4. 1	39	737	25	3	27	5
三重西	三重三丁目 129	昭 50. 4. 1	24	334	12	3	15	7
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50. 4. 1	28	523	18	2	18	7
桜台	桜台一丁目 32	昭 52. 4. 1	20	271	12	1	12	7
三重北	山之一色町 90	昭 53. 4. 1	17	154	6	1	7	5
八郷西	萱生町 1086	昭 53. 4. 1	13	170	6	1	7	5
羽津北	大字羽津 500	昭 57. 4. 1	30	537	18	3	21	4
内部東	采女町 423-4	昭 59. 4. 1	35	629	21	2	26	4
中央	元新町 2-36	平 7. 4. 1	16	131	6	2	7	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8. 11. 20	27	386	12	4	14	8
合 計 [37校]			974	14,684	516	98	601	222

2. 中学校

(令和6年5月1日現在)

校名	所在地	創立年月日	教職員数 (人)	生徒数 (人)	学級数		保有教室数	
					普通	特支	普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22. 4. 15	26	294	9	3	14	7
橋北	高浜町 1-4	昭 22. 4. 15	13	86	3	1	4	8
港	十七軒町 10-41	昭 22. 4. 15	20	182	6	2	8	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22. 4. 15	14	86	3	1	5	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22. 4. 15	37	595	16	3	19	9
富田	東茂福町 4-19	昭 22. 4. 15	24	329	10	3	11	8
富洲原	天カ須賀五丁目 3-10	昭 22. 4. 15	20	200	6	2	8	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22. 4. 15	33	441	12	5	15	9
南	前田町 18-17	昭 22. 4. 15	36	576	16	3	20	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22. 4. 1	27	380	11	2	12	9
大池	下海老町 2662-1	昭 22. 4. 1	31	532	15	2	18	9
朝明	平津町 409-2	昭 22. 4. 1	35	533	15	2	18	9
保々	西村町 2787-2	昭 22. 4. 15	17	156	6	1	7	8
常磐	大字松本 810	昭 48. 4. 1	37	643	18	2	21	10
西陵	西山町 7229	昭 51. 4. 1	16	169	6	1	7	7
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51. 4. 1	23	188	6	2	9	8
三重平	三重八丁目 1	昭 52. 4. 1	18	230	7	1	7	8
羽津	大字羽津甲 26	昭 54. 4. 1	29	499	13	2	19	8
西朝明	北山町 1169	昭 54. 4. 1	23	302	9	2	12	8
桜	桜町 1064	昭 57. 4. 1	26	315	9	2	12	9
内部	波木町 697	昭 60. 4. 1	32	497	14	3	18	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22. 4. 15	21	242	8	2	10	10
合 計 [22 校]			558	7, 475	218	47	274	190

※ 「普通」は加配学級・独自学級を含めた実学級数

※ 「特支」は特別支援学級数を示した外数

※ 「教職員数」は市費・県費常勤の職員から代替教員を除いた数

● 私立小・中学校一覧（市内）

1. 私立小・中学校

（令和6年5月1日現在）

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数 (人)	児 童 ・ 生 徒 (人)	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	21	323	12
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	34	249	8
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	39	215	9
四日市メリノール学院中学校	平尾町2800	昭39	35	170	6
合 計 [4校]			129	957	35

※教員数には兼務者を含む

[社会教育]

<令和6年度主要事業>

1. 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

2. 学校施設（教室）開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、37小学校3中学校で学校施設（教室）開放を行った。

博 物 館

博物館は、貴重な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして平成5年11月1日に開館した。

その後、20年が経過し、プラネタリウム投映機器や常設展示の経年劣化が進む中、「四日市公害と環境未来館」の博物館内への併設が決まり、プラネタリウム及び常設展示のリニューアルと一体的な整備を進め、新たな魅力を備えた施設として、平成27年3月21日にリニューアルオープンした。常設展示は、古代から近世までの各時代の特徴を表す建物を原寸大で再現し、時代を体感できる展示として四日市公害と環境未来館の近・現代の展示につなげ、歴史の流れを理解してこれからの四日市を考える場とした。プラネタリウムは、従来の「地球からみた宇宙」という視点から、「宇宙からみた地球、宇宙からみた四日市」という新たな視点で、地上目線では捉えることができない地球環境についても投映し、四日市公害と環境未来館と連携した環境を考える場として特色あるプラネタリウムとした。

● 施設概要（平成27年3月21日リニューアルオープン後）

所在地	四日市市安島一丁目3番16号		
敷地面積	1,845.84㎡		
建築面積	1,590.40㎡		
延床面積	10,147.11㎡		
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下2階地上6階建		
6階	373.48㎡	プラネタリウム	
5階	1,340.81㎡	プラネタリウム、コスミックギャラリー、コスミックラウンジ	
4階	1,343.05㎡	特別展示室、資料評価室、会議室	
3階	1,251.01㎡	博物館常設展（時空街道、丹羽文雄記念室）、文献資料室、事務室、会議室	
2階	1,321.33㎡	四日市公害と環境未来館常設展、事務室、会議室	
1階	1,466.32㎡	エントランスホール、講座室、ショップ、図書スペース、研修・実習室	
地下1階	1,536.71㎡	収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室	
地下2階	1,514.40㎡	収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室	

入館者の状況

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合 計	備 考
2年度	255日	18,528人	13,044人	19,457人	51,029人	特別展3回・企画展1回
3年度	260日	29,357人	12,212人	31,344人	72,913人	特別展2回・企画展1回
4年度	169日※	26,924人	13,514人	32,590人	73,028人	特別展1回・企画展1回
5年度	285日	50,427人	16,506人	55,966人	122,899人	特別展2回・企画展1回
6年度	198日※	36,997人	14,023人	37,751人	88,771人	特別展2回

※空調設備等更新工事のため休館（令和4年9月1日～令和5年2月10日）

※受変電及び発電機設備等更新工事のため休館（令和6年11月1日～令和7年2月28日）

● 博物館事業

1. 常設展

常設展「時空街道」は、基本テーマを「四日市のまちの発展の歴史と、そこに暮らしの人々の生活の変化」とし、各時代を特徴づける建物を原寸大で再現した体感型の展示である。

〈 時空街道の旅 〉

博物館で扱う原始・古代から近世までの流れを映像で絵巻物のように見せる。

〈 久留倍の村 〉

久留倍遺跡で出土した弥生時代後期の竪穴住居を再現。この村が道に接していたことから奈良時代の朝明郡衙となることを紹介。

〈 四日の市 〉

四日市のまちの発祥となった室町時代の市を再現。店舗の形態や、取引される品物などを紹介。

〈 四日市宿 〉

江戸時代の東海道の宿場町を再現。問屋場、旅籠の他に、間の宿にみられる茶店などを再現。

〈 四日市湊 〉

2階の四日市公害と環境未来館につなぐ展示として、湊で賑わった江戸時代と、明治初年の衰退期、港の修築によって近代港湾となった四日市港のその後の発展を紹介。

〈 丹羽文雄記念室 〉 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示。

2. 特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がりを持つ資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

〈 特別展等 令和6年度開催〉

- ・英国王室に咲くボタニカルアートとウェッジウッド～植物画のおいたち～
- ・木工作家 つちやあゆみ 木とメロディーの世界

〈 学習支援展示 令和6年度開催〉

- ・大昔の四日市
- ・四日市空襲と戦時下の暮らし

〈 特別陳列 令和6年度開催〉

- ・館蔵品展Ⅰ 新収蔵品展
- ・館蔵品展Ⅱ やきもの水族館
- ・四日市の生んだ「日本のライト兄弟」玉井兄弟展

3. 教育普及事業

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。また、体感型の常設展（丹羽文雄記念室含む）の案内をする博物館ボランティアの活動により観覧者の展示理解

を深めている。さらに、館蔵資料の解読を行う古文書ボランティアの活動も継続して行っている。

4. 資料の収集保存事業

博物館の最も基本的な機能であり、地域の博物館として四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。

5. 調査研究事業

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また、内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行う。なかでも、市内所在の資料・コレクション等の調査、魅力あるワークショップの調査、次年度以降の特別展・企画展調査に重点をおいている。

● プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会を市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

1. プラネタリウム投映事業

プラネタリウムでは、5階フロアを宇宙の港（GINGA PORT 401）と位置づけ、宇宙から見た星空や宇宙から見た地球という新たなコンセプトのもとに、約1億4000万個の星を映し出すことができるプラネタリウム機器を平成27年3月に導入し、観覧者をはるか宇宙の旅へと誘う。

四季の星空と宇宙をテーマとした季節番組（一般番組、ファミリー番組）や夜間特別番組を投映し、宇宙や地球環境、最新の機器の特性を生かした満天の星空の世界を提供している。また、ヒアリングループ受信機の貸出し、車いす用リフトや遮音室を設置している。

《令和6年度季節番組》

〈一般番組〉

- ・いのちの源～コズミッククルーザーで行く 驚異の太陽～
- ・MMX 火星衛星探査計画
- ・宇宙交響曲 138 億年をめぐる旅
- ・宇宙美術館 はるかなる宇宙望遠鏡の旅

〈ファミリー番組〉

- ・プラネタリウムでチョコちゃんに叱られる！チョコとキョエの宇宙大冒険！無知との遭遇
- ・ゲゲゲの鬼太郎 河童のテラフォーミング
- ・かいけつゾロリ ～うちゅうの勇者たち～
- ・名探偵コナン 灼熱の銀河鉄道

〈夜間特別投映〉

- ・天球のものがたり
- ・ハナビリウム～花火って、なんであるの？～
- ・コズミックフロント ファーストスター誕生
- ・WE ARE GUARDIANS 地球を救う人工衛星

〈幼児番組〉

- ・しまじろうとたんじょうびのおほしさま

2. 天文教育普及活動事業

天文教育研修、ガリレオ教室、コズミックスクール、公開観望会など幅広く天文教育普及活動を行う。

3. 天文展示コーナー（コズミックギャラリー）

天文展示コーナーをコズミックギャラリーと位置づけ、JAXA と連携した展示や宇宙から見た地球環境の展示や太陽系から銀河系までの天体情報を未来像も含めて展示し、宇宙へ旅立つ前の高揚感を高める場とした。

4. 移動天文車「きらら号」

口径20cmの天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内外に出向き、観望会を実施している。観望会には天文ボランティア（登録53人）が参加協力をする。また、天文現象（流星群など）をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘的な宇宙の姿を紹介している。また、市民公園での観望会では、平成30年に寄贈された口径25cmの天体望遠鏡も活用している。

● 博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。令和5年度は定例会を3回開催した。〔委員数14人〕

楠歴史民俗資料館

この資料館の主要施設である旧庄屋岡田邸は、代々本郷村の庄屋であった岡田家の邸宅であり、いくつかの古文書や神社棟札、文政12年（1829年）の岡田家の古文書に庄屋の記載がみられ、この頃に庄屋職を桑名藩より拝命したと推定されている。また、建物については、敷地内に祭っていた弁財天の社の中に、宝暦10年（1760年）の記載があることから建築年代は18世紀半ば、少なくとも江戸時代中期に、現在の主屋と土蔵が建築され、建築様式から推定すると250年ほど経過していると考えられている。北勢地域においても、歴史的価値が高い建造物であることから、四日市市有形文化財（建造物）に指定されている。平成17年4月に米蔵の跡地に展示棟兼収蔵庫を併設し、資料館として開館している。

●施設概要

所在地	四日市市楠町本郷 1068 番地		
敷地面積	1,229.23 m ² （資料館 932.23 m ² 、駐車場 297 m ² ）		
建築面積	338.09 m ²	延床面積	448.24 m ²
構造	主屋・立会所	木造瓦葺平屋	209.75 m ² （四日市市指定有形文化財）
	蔵	木造瓦葺平屋	39.08 m ² （四日市市指定有形文化財）
	水屋	木造瓦葺平屋	2.76 m ²
	展示棟兼収蔵庫	木造瓦葺2階建	196.65 m ²

●施設

旧庄屋岡田邸：主屋・立会所・蔵・水屋

展示棟兼収蔵庫：常設展示室・映像コーナー・企画展示コーナー・事務室・収蔵庫

●来館者数

令和元年度：6,325人 令和2年度：2,509人 令和3年度：2,231人 令和4年度：3,956人

令和5年度：3,391人 令和6年度：4,508人

●事業概要

夜間特別開館（夏・秋）、おひなまつりコンサート、しめ縄づくり、企画展示コーナー作品展（市内外の文化サークル）、古布細工と雛祭り展、語り部事業など

図 書 館

● 施設概要

- ・所在地 四日市市久保田一丁目2番42号
- ・敷地 4,738.01㎡
- ・構造 鉄筋コンクリート造 地上3階・地下1階
- ・開館 昭和48年7月10日
- ・建物面積 延4,147.42㎡

(令和7年3月末現在)

1階	一般成人室	24席 (新聞雑誌コーナー・参考図書コーナー・軽読書コーナー)
	児童室	28席
	点字・録音資料室	6席
2階	一般閲覧コーナー	31席
	地域資料室	12席
	郷土作家コーナー	10席
	インターネットコーナー	2席
	展示コーナー	
	視聴覚ホール	30席
3階	学習室	105席
	個人学習コーナー	48席
	スナックコーナー	41席 (図書館用図書リサイクルコーナー・飲食コーナー含む)
	会議室	20席
	研修室	8席

● 業務内容

開館時間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 (午後5時以降は一般成人、地域資料室のみ) 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休館日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間 (6月中の約10日間)、年末年始
館外貸出	本市及び三重郡三町の在住、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町の在住者を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自動車文庫	市内に91カ所の駐車場を設け、2台の自動車文庫で月1回 (8月を除く) 巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資料複写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写 (複写料: 白黒1枚10円・カラー1枚50円)。ただし、図書館資料 (一部を除く) に限る。
資料相談	電話、文書、来館のいずれも可
電子図書館	本市の在住、在勤、在学者を対象として1人3点以内、15日以内で貸し出しする。

● 令和6年度事業報告

(1) 生涯学習に役立つ幅広く豊富な資料

幅広い世代の多様なニーズに対応するため、18,155冊の図書資料を受け入れた。

また、地域に関する情報発信のため、地域資料の収集に努めた。

さらに、展示や各種たよりで資料の紹介を行うとともに、講座や研修会・行事などを通して生涯学習の機会を提供した。

(2) 図書館サービスの質的向上

人と本や情報を結びつけるため、利用者からの要望に応じ、9,260件のレファレンスサービスを行うとともに、レファレンス内容を職員間で共有し、図書館サービスの質的向上に努めた。

また、新たにICタグによる図書管理を導入し、利用者の利便性の向上を図った。

(3) 生きる力につながる子どもの読書活動

「四日市市子どもの読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせや手づくり絵本講座の開催、読み聞かせのボランティア等を対象とした研修会の実施などにより、子どもが本に親しむ環境づくりに努めた。

また、小学校への自動車文庫派遣や、なのはな文庫（学校専用貸出図書）の貸出、子育て支援施設への出前講座などを行うとともに学童保育所へのセット本の貸出を行い、子どもの読書活動推進に取り組んだ。

(4) 活字での読書が困難な方への図書館サービスの充実

視覚障害及びその他の障害により読書が困難な利用者のために、点字資料・録音資料等の整備を行った。

また、点訳及び音訳体験講座を開催し、ボランティアの育成に努めるとともに、点字資料や録音資料に関わる図書館ボランティアのスキル向上のため、専門的な研修会を開催するなどの支援を行った。

(5) 新図書館の整備に向けた検討

近鉄四日市駅前のスターアイランド跡地での新図書館整備にあたり、市民からの意見等を踏まえ、利用者の利便性の確保と効率的な運営を実現するため、施設の機能・運営等についてまとめた。しかしながら、令和6年5月に当該土地での新図書館整備を断念したため、まとめた結果については新たな候補地での整備に活かしていく。

(6) よっかいち電子図書館の活用

図書館への来館や紙の本による読書が困難な方をはじめ、多くの方に読書に親しむ機会を提供するため、東海地区で最多となる充実したコンテンツ数、電子申請の活用など、サービス内容の充実及び広報・周知に努めたことで、閲覧は731,357件となった。

また、市内の公立小中学校の児童生徒及び教職員に対し一括での利用登録を行い、学習支援や読書機会の提供を行った。

● 月別事業実施表

月	事業名
4	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(6日)／子ども読書の日企画「絵本の読みきかせ」(20日)／子ども読書の日企画「ザ・男の読みきかせ mini」(21日)
5	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(4日)／おとなのためのストーリーテリング(19日)／笹川保育園子育て支援センター出前講座(8日)／八郷地区市民センター出前講座(31日)
6	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(1日)／向陽台高等学校講師派遣(18日)／朗読ライブ(30日)
7	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(6日)／夏の絵本の読みきかせ(20日)／夏のおはなしびっくりBOX(24日)／夏のおはなし会(27日)／手づくり絵本講座(25・26・8月1日)
8	子ども点字教室(2日)／絵本の読みきかせ「耳をすませて」(3日)／小学生版夏のおはなしぎんのかい(11日)／夏のおはなしと読み聞かせ(21日)／館野鴻講演会「絵本の向こうがわ～自然・生命・環境～」(31日)
9	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(7日)／日永小学校自動車文庫派遣(18日)／四日市農芸高等学校講師派遣(27・10月1・8日)
10	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(5日)／音訳体験講座(16・23・30日)／中央小学校自動車文庫派遣(25日)
11	常磐小学校自動車文庫派遣(1日)／絵本の読みきかせ「耳をすませて」(2日)／点訳体験講座(8・15・22日)／秋の絵本の読みきかせ(16日)／秋のおはなし会(23日)／塩浜小学校自動車文庫派遣(29日)
12	おうちで読みきかせ はじめのいっぽ！(1日)／図書館教育研究協議会司書派遣(4日)／おしゃべりえほんの会(6日)／絵本の読みきかせ「耳をすませて」(7日)／小学生版冬のおはなしぎんのかい(8日)／中部地区市民センター出前講座(15日)／子ども読書研修会(15日)／読書に関するエッセー入賞者表彰式(22日)／冬のおはなしびっくりBOX(25日)／「学ぼう！飛行機はなぜ飛ぶ？」(26日)
1	おおさむこさむの読みきかせ(11日)／点訳専門研修会(31日)
2	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(1日)／音訳専門研修会(19日)／塩浜子育て支援センター出前講座(28日)
3	絵本の読みきかせ「耳をすませて」(1日)／朗読ライブ(20日)／春のおはなしと読みきかせ(28日)

● 過去3年間の利用状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
開館日数		275	275	※3 263
入館者数	年間総数	216,965	219,429	215,679
	1日平均	789	798	820
登録者数	総登録者数	24,447	28,785	30,210
	個人登録者	23,975	28,290	29,720
	(うち15歳以下)	(5,219)	(6,190)	(6,344)
	団体登録者	306	324	323
	点字・録音(個人/団体)	32/134	33/138	28/139
	個人登録率(%) (※1)	7.8	9.2	9.7
貸出者数	貸出者総数	256,550	262,361	258,161
	本館	246,711	253,427	249,474
	自動車文庫	9,489	8,622	8,426
	点字・録音	350	312	261
貸出冊数	貸出冊総数	916,113	911,482	874,184
	本館(※2)	856,876	858,280	823,128
	(うち雑誌)	(26,252)	(23,941)	(23,324)
	自動車文庫	58,733	52,797	50,753
	(うち雑誌)	(1,161)	(1,251)	(1,204)
	点字録音資料室	504	405	303
	録音	492	396	301
	点字	12	9	2
	市民1人当り貸出数	3.0	3.0	2.9
調査相談 件数	総数	9,214	9,313	9,260
	口頭	9,134	9,227	9,183
	電話	69	80	65
	文書・メール	11	6	12
予約 リクエスト	総数	83,982	85,495	83,653
	本館(窓口)	14,080	13,294	12,791
	本館(インターネット)	62,122	64,817	64,212
	自動車文庫	7,780	7,384	6,650
複写	件数	1,181	1,237	1,330
	枚数	8,417	7,965	9,499
人口(各年度の3月31日現在)		308,752	306,634	305,599

※1 個人登録率＝(個人登録者＋点字・録音個人)÷人口

※2 本館は、個人・団体・なのはな文庫等を含む

※3 図書館情報システム更新に伴い令和7年2月3日から17日まで休館

● 蔵書統計（令和7年3月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	10,375	7,260	3,115	309,398
本館児童	2,973	1,177	1,796	104,398
本館外国語（成人・児童）	68	4	64	3,862
本館雑誌（成人・児童）	2,237	2,099	138	26,576
点字・録音資料	85	0	85	3,236
自動車文庫	2,312	1,353	959	29,652
自動車文庫雑誌	105	95	10	463
総計	18,155	11,988	6,167	477,585

資料区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
その他資料	153	22	131	9,579

● 図書購入費（当初予算）の推移

（千円）

年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
総額	286,707	296,486	240,903
図書費	31,126	31,736	31,679
電子書籍費	51,920	11,215	32,611
その他資料費	3,520	3,570	3,680

● 四日市まちじゅうこども図書館事業

まちじゅうで、子どもが自然に本に触れられる環境づくりを行い、子どもの読書活動の推進及び本を通じた多世代交流を図るため、四日市まちじゅうこども図書館を平成27年度から市内の店舗や医院、金融機関、事業所等で開館している。令和6年度末時点で103館となった。

学校人権教育

人権問題を解決する行動力を育成するための人権教育の充実

人権問題を自らの問題と捉え、身近なことから取り組むとともに、主体的に自己選択・自己決定し、問題を解決する行動力の育成を図ることにより、子どもたちの現在及び将来における自己実現を目指します。また、教職員の人権意識を高め、人権教育における指導力向上を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった人権教育の推進を図ります。

1. 「四日市市人権教育・啓発基本方針」「第4次四日市市学校教育ビジョン」「学校教育指導方針」を踏まえ、各校園の人権教育推進計画の策定・充実に努める。
2. 各中学校区の「子ども人権フォーラム」でねらいとする【子どもにつけたい力】が、それぞれの小中学校の全ての学年に系統的に位置づけられた人権教育カリキュラムの作成に努める。
3. 学校人権教育に関して教職員への支援・助言を行う。また、校内研修等において、学校人権教育推進人材バンク登録者（人権教育リーダー育成研修修了者）等を活用し、OJTの促進を図る。
4. いじめや差別のない学校づくりに向けて、教職員・保護者を対象に一人一人の人権意識を高める研修を継続する。
5. 中学校区単位で、子ども人権フォーラム・授業交流・情報交換会等の実践を通じて、校園や地域関係組織との連携を一層深める。
6. 人権センター・人権プラザと連携し、部落問題や外国人・障害者・女性・子ども・性的少数者等個別の人権問題の解決に向けた四日市市全域を含むネットワークを構築することで、差別をなくし、子ども・保護者が安心できる教育環境づくりを推進する。
7. メディア・リテラシーと人権に関する出前授業の実施(小3・中2)およびリーフレットの配付、教職員研修会の実施を通して、メディア・リテラシー養成を通じた人権教育の推進を図る。

□幼児・児童・生徒の人権活動

- ・ 人権啓発ポスターの募集（対象：保育園児、幼稚園児、こども園児、小学生、中学生、高校生）
- ・ 人権作文の募集（対象：小学生、中学生）
- ・ 中学校区子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／22中学校区で随時開催）
- ・ 人権のひろば展（12月～1月／展示内容：人権啓発ポスター）

□教職員資質向上・人材育成

- ・ 人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員）
- ・ 人権教育初任者研修会（対象：新規採用教職員全員）
- ・ 人権教育実践研修会（対象：小・中学校教職員）
- ・ 人権教育転入者研修会（対象：市外からの小・中転入教職員等）
- ・ 学校人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校対象教職員／3回）
- ・ 人権教育教頭研修会（対象：小・中学校教頭）

□指導用図書及び啓発資料の配付

- ・ 人権啓発カレンダー
- ・ 四日市市人権作文集

- ・リーフレット「いっしょに考えよう～いじめ問題～」（保護者編）
- ・リーフレット「友だちを大切にインターネットとのつき合い方」（小学生向け）
「誰かを傷つけないためにできること」（中学生向け）

□人権教育推進事業

事業名	対象	期間
人権教育推進校 指定事業	富洲原小、富田小、四郷小、三重小、水沢小、保々小、 三重西小、三滝中、三重平中、桜中	1年
子ども人権文化創造事業・ 自己実現支援事業	日永地区、常磐地区、保々地区、神前地区の 子ども人権文化育成協議会	1年
中学校ブロック 人権文化創造事業	全中学校ブロック（中学校区の全校園）	1年
〔県補助事業〕 地域と学校の連携・協働体 制構築事業	西笹川中学校区、三重平中学校区、中部中学校区 大池中学校区、楠中学校区、三滝中学校区、朝明中学校区	1年

● 人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	建物 延べ面積(㎡)	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目1-21 351-7609	S50.6.8	RC造 2F	260.43	1階 事務室、料理実習室、談話室、 相談室 2階 ホール
赤堀児童 集会所		S52.3.31	RC造 2F	310.13	1階 ホール、幼児室、事務室 2階 図書室、学習室
人権プラザ 天白	日永二丁目5-15 346-2803	S48.9.30	RC造 2F	253.26	1階 事務室、料理実習室、談話室 2階 ホール
天白児童 集会所		S53.3.31	S造 平屋	258.17	ホール、学習室、相談室、図書室、 幼児室
人権プラザ 小牧	市場町1041-24 339-0909	S48.3.15	RC造 2F	482.42	1階 事務室、相談室、料理実習室 2階 集会室、図書室
小牧西児童 集会所		S57.3.31	S造 平屋	310.54	学習室、図書室
人権プラザ 神前	寺方町2281 326-0840	S50.4.30	RC造 2F	338.86	1階 事務室、料理実習室、図書室、 談話室 2階 ホール、相談室
寺方児童 集会所	寺方町2251 326-0840	S52.8.31	S造 平屋	562.39	ホール、学習室、図書室、幼児室、 職員室
神前 柔道教室	曾井町494-3 326-4236	S52.3.30	S造 平屋	227.48	柔道場、相撲場

教育・視聴覚センター

● 施設の概要

施設目的	教職員研修、教育課題研究、特別支援教育、教育相談、不登校対策、教育情報環境整備、広報普及、視聴覚ライブラリーの事業を実施して、学校・園の教育の振興を図るとともに、広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館 6, 7, 8F 日永東一丁目2-28 四日市市登校サポートセンター
施設	事務室 個別学習室1・2 集団学習室1・2 研究室 情報教育室 会議室 視聴覚ライブラリー 第1～3研修室 視聴覚室 四日市市登校サポートセンター

● 業務内容（令和6年度）

事業名	内 容
研究	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課員による課題研究の推進 ○ 教育図書、研究資料の整備、提供 ○ 研究報告書、研究資料、ニュースの刊行
教職員研修	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員研修の企画・運営 〔「教師力向上のために」による自己相互研鑽の推進、授業づくり・学級づくり等日々の実践につながる研修、教職経験年数（ライフステージ）に応じた研修等〕 ○ 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動、教育研究大会、教育講演会
各種連携事業	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三泗教育発表振興会（児童・生徒の発表に関する事務・調整等） ○ 四日市こども科学セミナーの企画・運営 ○ 企業連携・大学連携事業・JAXA連携事業の実施（連絡・調整等）
教育相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校や発達・行動等に課題のある子どもの保護者・教職員に対する相談支援（来所相談、電話相談、他の相談機関との連携調整） ○ 「わくわく」「ふれあい」での、不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 ○ 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 ○ 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 ○ 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動
情報教育	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 ○ 情報教育推進のための調査・研究
視聴覚センター	<ul style="list-style-type: none"> ○ 視聴覚ライブラリーにおけるDVD、ビデオテープ、プロジェクターなどの貸出し